

# マンガ「片町夜曲(セレナーデ)」 # 26 原作シナリオ

山崎浩治

## マンガ「片町夜曲(セレナーデ)」 # 26 原作シナリオ

---

#1 タテマチストリートを歩いてくるオネエ所長と菜摘、サオリ(夕方)

オネエ所長「トオルちゃんはなぜ成仏しないのかしら」

サオリ「未練があると天国に行けない、ってなっちに言ったらしいわ」

菜摘「トオルちゃんはいまでもアヤカのことを好きなんだよ」

オネエ所長「牡丹灯籠みたいにアヤカに取り憑くつもりじゃないでしょうね……怨霊退散のお札買ってこようか。それとも神主さんにお祓い頼む？」

鬼の形相でオネエ所長の背後に立っているトオル。

トオル「オレが怨霊なんてひどいじゃないですか、所長！」

オネエ所長「(引きつった顔で)なんか背筋がゾクゾクするのは気のせい？」

サオリ「(冷たく)このおっさんには崇っていいよ、トオルさん」

賑やかに歩いて行く3人の後ろ姿――を物陰の女が見ている。

#2 「居酒屋まわりみち」店内

女(顔は見えない)が入店してくる。

アヤカの声「いらっしゃい！」

店内の客にはオネエ所長、菜摘、サオリの他に、同伴客を連れた出勤姿の美鈴がいる。

美味しそうにアヤカレーを食べている菜摘。

オネエ所長「(冗談ぽく)ねえなっち、いっそ、あたしの子どもになりなさい」

菜摘「(驚いてオネエ所長を見上げ)……」

背後から女の声「なりたければ、なればいいよ」

オネエ所長、菜摘が振り返ると、ギャルっぽい格好をした若い女が立っている。

菜摘「(笑顔が弾けて)ママ！」

若い女は菜摘の母・麻衣。

麻衣「迎えに来たよ、菜摘。かわいい洋服買ってあげる(と菜摘に手を伸ばす)」

オネエ所長「(麻衣の前に立ち塞がって)いままでなっちをほったらかしにして、それはないでしょ！」

固唾をのんで成り行きを見守るアヤカや店内の客たち。

麻衣「(そっぽを向いて)菜摘の面倒見てくれてたんだってね。サンキュ」

オネエ所長「あなた、なっちをちゃんと育てられるの？ あたしはこの子の母親になってもいいと思っているのよ」

麻衣「(哄笑して)あんたが母親？ オカマが母親になれるわけないじゃん！」

次の瞬間、麻衣の頬に平手打ちが飛んでいた。

店内の一同「(呆気にとられて)……」

平手打ちをしたのは――美鈴。

美鈴「偉そうな口を利くのは、一人前の母親になってからにきなさい」

麻衣「(美鈴を睨んで)……」

美鈴「このおっさんの方があんたなんかより何億倍も母親らしかったわ」

瞠目してその光景を見ているアヤカ。

アヤカのOFF「後から聞きました。美鈴さんが昔、ネグレクトされた子どもだったことを……」

麻衣「(逃げるように店を出て行こうとする)」

菜摘「(麻衣の腰に抱きついて)待ってママ！ なっちも行く！」

オネエ所長「(言葉を失って固まっている)……」

### #3 マンスリーマンションの一室(数日後)

お水の身支度を調えている麻衣。

菜摘「ママ、今日も遅いの？」

麻衣「ご飯用意しといたから。仕事行ってくる。先に寝てて(慌ただしく出ていく)」

キッチンの流し台に菓子パンが1個だけ置かれている。

### #4 「プライベート・リサーチ」室内

サオリ「なっち、元気にしてるかな……」

安心して窓外を眺めているオネエ所長。

サオリ「……居場所とか調べなくていいの？」

オネエ所長「あたしの出る幕なんかないのよ」

### #5 マンスリーマンションの一室(別の日の深夜)

酔っ払って帰宅する麻衣。

菜摘「お帰りママ！(麻衣に飛びついていく)」

麻衣「(菜摘を突き飛ばし)先に寝てろって言ったでしょ！」

吹っ飛ぶ菜摘。

汚れた衣服、穴の開いた靴下。菜摘の体のあちこちにアザが見える。

### #6 クラブ(ディスコ)で男と踊っている麻衣(数週間後)

### #7 ウィークリーマンションの一室

ゴミ袋が散乱している。

熱に浮かされて横たわる菜摘がドロップ缶を振ると、レモンが出てきた。

菜摘「最後の1個……レモンをなめると病気が治るんだよ(とドロップを口に入れる)」

荒い息の菜摘、苦悶の表情。

### #8 「スナック香澄」店内(夜)

カウンター席の隅に腰掛け、接客するアヤカを見つめているトオル。

OFF「トオルちゃん……」

トオル、振り向くと、ぬいぐるみを抱いた菜摘が立っている。

店内の誰も2人に気付いていない。

#9 〃堂形のシイノキ、の上に浮かんでいるトオルと菜摘

トオル「なっち、どうしてここに……」

菜摘「ねえトオルちゃん……死ぬのって怖い？」

トオル「！」

#10 サオリの部屋

化粧を落としているサオリの前に突然現れるトオル。

トオル「大変だサオリさん！」

サオリ「(腰を抜かして)夜中に突然出てこないで！ あなたは幽霊！ 立場わきまえて！」

#11 マンスリーマンションの一室

管理人を伴い、室内に駆け込んでくるオネエ所長とサオリ。

室内では菜摘が意識を失っている。

オネエ所長「ごめんなさい、なっち！ あたしがあなたを守らなきゃいけなかったのに！」

#12 虹のたもとにやってくる菜摘

虹の向こうで微笑む女性(60代)が手を振っているのが見える。

菜摘「(笑顔になって)おばあちゃん！」

祖母に向かって駆け出す菜摘——その手を誰かがつかんだ。

菜摘、振り返ると、トオルが立っている。

トオル「(微笑んで)おばあちゃんのところにまだ行っちゃだめ」

#13 病室

ベッドで昏睡する菜摘を心配そうに覗き込んでいるオネエ所長とサオリ。

菜摘「(目を開いて)……虹の向こうにおばあちゃんがいたの。でもトオルちゃんが行っちゃダメだって」

オネエ所長「(泣き笑いで菜摘を抱きしめて)あなたは虹の世界から帰ってきた 〃オズの魔法使い、のドロシーね。お帰り、なっち。そして……ありがとう、トオルちゃん！」

#14 「居酒屋まわりみち」店内(数日後)

楽しそうに食事しているオネエ所長、菜摘、サオリ。

そんな3人を目を細めて見つめているアヤカ。

アヤカのOFF 「なっちのママはまた家出してしまったそうです……」